



®環境省

エコアクション21

認証番号 0012899

環境経営レポート2020

2020年7月1日～2021年6月30日
-事業年度 第53期-



2021年7月31日発行

広島の建物の“健康”を支える



八洲管理株式会社

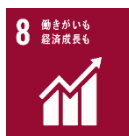


目次

1. 環境経営方針	…	P2
2. 組織の概要・実施体制	…	P3 ~ 4
3. 環境経営目標	…	P5
4. 環境経営目標の実績・評価	…	P6
5. 環境経営計画の取組結果・評価	…	P7 ~ 8
6. 次年度の環境経営計画	…	P9
7. 本社増床プロジェクトにおける取組	…	P10
8. 代表者の全体評価と見直し・指示と 法令遵守状況等	…	P11
9. 各現場における環境活動	…	P12 ~ 13



八洲管理株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります



- ・幅広い年齢層の雇用促進
- ・働きがいを見いだせるような安全安心な職場環境の整備
- ・資格取得補助等による人材育成の充実化



- ・清掃業を通じ、衛生的な生活環境を確保
- ・貯水槽清掃により、きれいで安全な水を提供
- ・ビルメンテナンス業で地域の建物の健康をも守る



- ・環境に配慮した資機材の使用で環境負担を低減
- ・省エネルギー促進によりさらなるCO2削減を目指す
- ・太陽光発電により脱炭素社会へ貢献

1. 環境経営方針

環境経営方針

八洲管理株式会社はビルメンテナンス事業の柱である清掃業務・設備管理業務及び警備業務において、全従業員が一丸となってエコアクション21の活動を通じて積極的に環境への取組を推進し、「安全で暮らしやすい」環境優先社会の実現に貢献する企業として存続・進化し続けます。

1. 環境負荷の低減と経営を両立させ、取り組みを通じ全従業員が自ら考え自ら行動する企業風土を醸成し、活動をスパイラルアップさせます。
2. 地球温暖化への対応のために、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
(電力消費量及び業務車両・機器燃料)
3. 循環型社会への対応のために、廃棄物発生量の削減およびリサイクルに努めます。
4. 衛生的な飲料水を提供するとともに、水資源を有効に活用するために、水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した製品を優先的に選定し、化学物質の削減に努めます。
6. 環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する提案商材を作ります。
7. 地域美化活動やボランティアに、積極的に参加します。また、効果的な情報発信で環境活動の輪を企業の枠を超えて広めます。
8. 環境関連法令、条例や規制等の要求事項を遵守し、社会の安定の維持のために環境保全に努めます。
9. 環境経営方針に関する教育を全社員に対して行います。

制定日：2018年11月30日

改定日：2020年7月1日

八洲管理株式会社
代表取締役社長

佐藤 香雄

2019年11月に建築物飲料水貯水槽清掃業(5号登録)の事業登録を行った事に伴い、地域の環境保全と公衆衛生向上に対する志を持ち、建物利用者の皆様に衛生的な水資源を提供するという強い使命感を環境経営方針に明記いたしました。

2. 組織の概要・実施体制

1. 会社名

やしまかんり
八洲管理株式会社

2. 代表者名

代表取締役社長 佐藤 秀雄

3. 所在地

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町19-1 タルタビル1・2F

4. 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 高野 隆史 (業務部)

環境事務局担当 : 丸山 幸一 (業務部)

連絡先 : TEL 082-232-7871、FAX 082-232-7872

5. 主な事業内容

設備管理業務、清掃業務、建築物環境衛生管理業務、
施設内警備保安業務、建物保全業務



日常清掃



屋外高圧洗浄



貯水槽清掃消毒作業



高所ロープ作業(硝子清掃)



エアコン分解洗浄



設備各種点検



設備運転管理



施設警備



駐車場管理



排水管高圧洗浄

2. 組織の概要・実施体制

6. 事業の規模

売上高 : 329百万円 (第53期・2021(令和3)年6月)
 従業員数 : 57人 (常勤従業員数に換算した人数)
 延べ床面積 : 211㎡

※総従業員数および延床面積内訳

	本社	清掃現場	設備現場	警備現場	その他	合計
従業員(人)	14	19	12	11	1	57
延べ床面積(㎡)	211	---	---	---	---	211

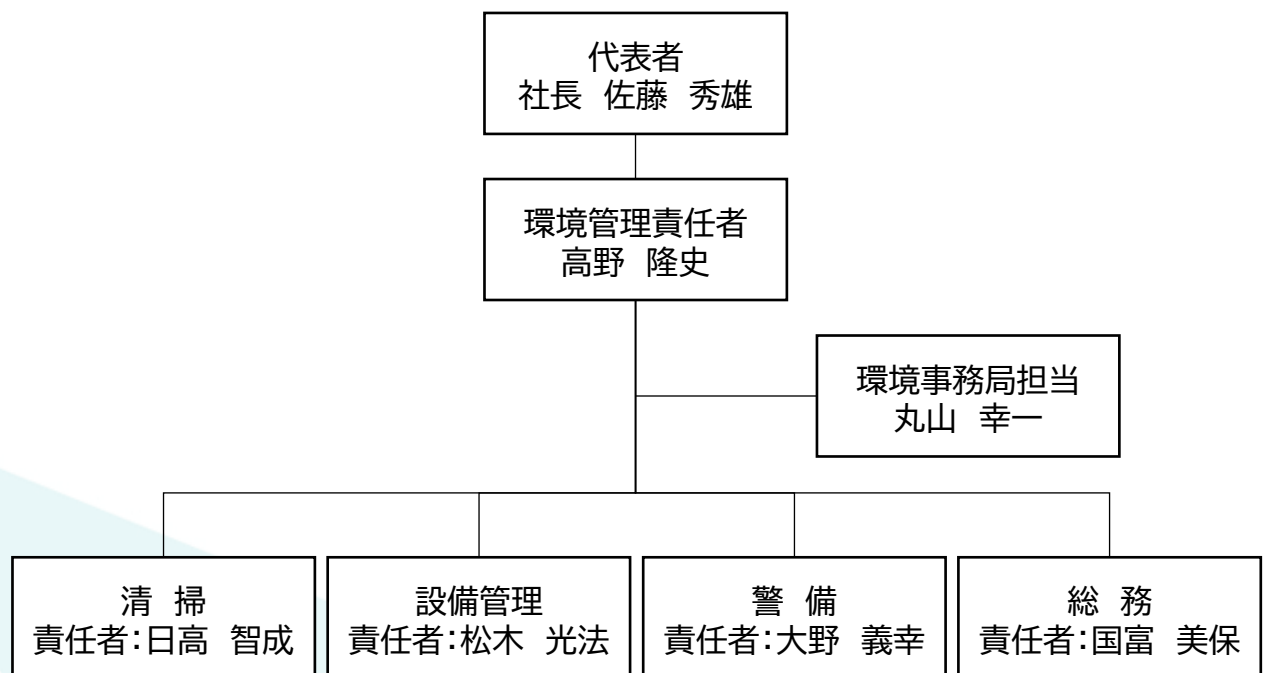
7. 事業年度

7月～翌年6月

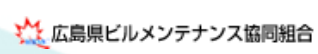
8. 認証の対象組織・活動

対象事業所 : 本社事務所
 対象活動 : 前頁5のとおり

9. 実施体制



10. 加盟団体



一般社団法人 全国警備業協会
All Japan Security Service Association



一般社団法人 広島県警備業協会

3. 環境経営目標

基準に対する第53期および第54期、第55期の環境経営目標は下表のとおりに決定しました。第50期、または実態調査を終えた第51期を環境負荷を基準としました。(軽油使用量、一般廃棄物、グリーン商品購入は第52期を基準としています)

No.	項 目	【第53期】 (2020.7~2021.6)	【第54期】 (2021.7~2022.6)	【第55期】 (2022.7~2023.6)
I	二酸化炭素排出量の削減 21,414kg-CO ₂	20,846kg-CO ₂	20,756kg-CO ₂	20,554kg-CO ₂
	電力使用量の削減 【第50期】 5,986kWh	5,800kWh	5,747kWh	5,686kWh
	ガソリン使用量の削減 【第51期】 5,666L	5,495L	5,490L	5,439L
	軽油使用量の削減 【第52期】 1,588L	1,572L	1,556L	1,540L
II	廃棄物の削減			
	一般廃棄物の削減 【第52期】 330kg	325kg	320kg	315kg
	産業廃棄物の削減 【第51期】 34kg	30kg	30kg	30kg
III	水道水使用量の削減 【第50期】 122m ³	122m ³ 以下	122m ³ 以下	122m ³ 以下
IV	化学物質使用量の削減 【第50期】 6kg (PRTR該当物質)	3kg	3kg	3kg
V	グリーン商品購入の推進 【第52期】 100%	100%	100%	100%
VI	環境性能の向上・サービスの改善 【第51期】 1件	2件	2件	2件
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 【第50期】 2件	3件	3件	3件

注1:電気の二酸化炭素排出量は、中国電力株の2016年度実績 0.694 kg-CO₂/kwh により算出

注2:水については使用量自体が少量であり、削減が困難であるため現状維持を目標とする

4. 環境経営目標の実績・評価

今期の環境経営目標値に対する実績と評価は下表の通りとなります。

No.	項目	目標値	実績	評価
I	二酸化炭素排出量の削減	20,846 kg-CO2	19,607kg-CO2	○
	電力使用量の削減	5,800kWh	6,237kWh	×
	ガソリン使用量の削減	5,495L	5,002L	○
	軽油使用量の削減	1,572L	1,418L	○
II	廃棄物の削減			
	一般廃棄物の削減	325kg	523kg	×
	産業廃棄物の削減	30kg	366kg	×
III	水道水使用量の削減	122m ³ 以下	117m ³	○
IV	化学物質使用量の削減 (PRTR法該当物質)	3kg	3.15kg	×
V	グリーン商品購入の推進	100%	100%	○
VI	環境性能の向上・サービスの改善	2件	5件	○
VII	地域社会に向けた環境啓発活動	3件	1件	×

●新しく導入した社用車に、運転席と荷室の間にビニール製のエアセパレーターを設置しました。



取り付けていない同車種の他社用車より格段に空調効率が上がり、ガソリン使用量の削減に効果を発揮しています。

5. 環境経営計画の取組結果・評価

環境活動の取組み内容とそれぞれの取組みに対する評価(継続/完了/未着手)、及び総括は下表の通りとなります。

No.	取組内容	結果の評価
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 ・空調温度の適正管理 ・休憩時間の不要照明の消灯 ・コピー機の省エネ設定 ガソリン・軽油使用量の削減 ・不要なアイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動	・空調温度の適正管理 継続 ・サーキュレーターの設置 増床部も完了 ・休憩時間の不要照明の消灯 継続 ・コピー機の省エネ設定 完了 ・不要なアイドリングストップ 継続 ・急加速、急停車の防止 継続 ・効率的な移動 継続 【総括】 前年比で電力使用量+18% ではあったがガソリン使用量-2%軽油使用量-11%であったため総合では二酸化炭素排出量も目標を達成できた。懸念であった軽油使用車の排水洗浄以外での使用が減ったため、軽油使用料を抑えることが出来たのでこのまま続けたい。来期の問題として事務所の増床により空調機、照明が増えたため電力使用量は増加が見込まれる。
II	廃棄物の削減 ・分別によるリサイクルの推進 ・素材ボックスの設置 ・保管場所へ掲示板設置 ・ミスコピーの防止	・分別によるリサイクルの推進 継続 ・素材ボックスの設置 完了 ・保管場所へ掲示板設置 完了 ・ミスコピーの防止 継続 【総括】 事務所改装時に大量の一般、産業廃棄物が排出されたが、事務所の大幅な改装は今限りなので、来期の経過を観察する。
III	水道水使用量の削減 ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水	・節水の周知徹底 継続 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 完了 ・清掃時、手洗い時の節水 継続 【総括】 水道水の使用料は、4%の削減となった。事務所拡張時にトイレ廻りの改装も行い、節水型便器を設置したため、来期は使用量の削減が見込まれる。
IV	化学物質使用量の削減 ・環境に配慮した化学物質を選定する(PRTR法非該当物質)	PRTR法該当品から非該当品への切り替えを進めたため、前期比で約70%の削減に成功した。一部のPRTR法該当品はお客様からの要望で使用しているため、切り替えが難しい状況。
V	グリーン商品の購入推進 ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。	事務所改装、通常業務とも事務用機器はグリーン購入品を選定した。

5. 環境経営計画の取組結果・評価

No.	取組内容	結果の評価
VI	環境性能の向上・サービスの改善 ・環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を積極的に提案して省エネの推進を図る	お客様へLED照明、節電型エアコンを提案し、設置した。また、厨房のグリストラップから中継槽へ溢れたグリスをトラップへ戻す事で流出を防ぐことに成功した。
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加	今期もごみゼロクリーンウォークが中止となったため、環境啓発活動は目標未達に終わったが、新たな取り組みとして使い捨てカイロを使用した水質改善活動に参加することとした。

- 使い捨てカイロを利用した海洋水質改善活動プロジェクトに賛同し、業務で使用する使い捨てカイロを送っています。



弊社の警備事業では、気温変動の影響を受けやすい環境の警備現場が複数あります。そのため、冬季には本社事務所に使い捨てカイロを常備し警備隊員に配布しています。

使い捨てカイロに含まれる二価鉄イオン(Fe²⁺)に着目して、全国から使い捨てカイロを回収して水質・水環境の改善活動を行っている「Go Green Group」に使い捨てカイロを送り、環境保全に役立てて頂いております。



6. 次年度の環境経営計画

第53期の環境活動の取組み内容と結果の評価を踏まえ、次期への取組み内容を下表の通りとします。

No.	取組内容	次年度への取組み
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理（冷房28℃暖房20℃） ・サーキュレーターの設置 ・不要照明の消灯 	新型コロナの影響でマスクと換気をしたままで空調を使用せざるを得なかったため、空調での電力使用量が増えた。全体では前期比で18%の増加となった。事務所の拡張で来期はさらに電気使用量は増加する見込みだが、節電意識をさらに高めていく。
	ガソリン・軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・効率的な移動 	エコドライブの徹底と、軽油使用車両の使用を控えたことでガソリンで2%、軽油は11%の削減に成功した。今後もエコドライブと効率的な移動で使用量削減に努めたい。
II	廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 ・リサイクル率の向上 	倉庫の整理などで廃棄物の排出量が著しく増加してしまっただが、今後は落ち着く見込み。社員一同でゴミ分別する事も習慣化できたので、定期的にゴミ削減に関するミーティングを開く予定。
III	水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時・手洗い時の節水 	水回りの改装時に節水型トイレを導入した。節水ポスターも新たに掲示しなおした。前期比で9%削減できたが、このペースを続けたい。
IV	化学物質使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した化学物質を選定する（PRTR法非該当物質） 	PRTR法非該当品への切り替えを進めたため71%も削減できた。今後も可能な限り非該当品へ切り替えていく。
V	グリーン商品の購入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。 	引き続き事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。
VI	環境性能の向上・サービスの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した商品や製品（LED器具等）を積極的に提案して省エネの推進 	前期に続きお客様へ省エネ対応機器への取り換え工事や高圧洗浄サービスを提案していく。加えて、お客様の経済的負担が少なく、且つ現場で継続的に取り組みやすい省エネ活動をお客様と協同で取り組んでいく。
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加 	ごみゼロクリーンウォーク以外の環境活動にも積極的に参加していく。

7. 本社増床プロジェクトにおける取組

■環境に配慮した本社増床プロジェクト

4月中旬～6月中旬の約2カ月間で、本社事務所の増床工事を行いました。「環境に優しく、開放的で働きやすい一体感のある事務所づくり」をコンセプトにプロジェクトを進めました

工
事
前



20年前に移転して以降、長年整理されていない蓄積された書類が多くあり、徐々に増えた物品が棚のスペースを占領している状況。

また、直近8年で本社勤務の社員数が2倍になったことで動きづらいほど手狭になり、全員が揃う始業時・終業時にはまさに3密の状態になってました。

工
事
中



八洲管理の最大の強みはチームワーク、一体感を育むレイアウトにするため、既存事務所と新しく増床するスペースの間にあった壁・扉を全て撤去しました。また、工事終盤には社内通信環境の整備に加え、コロナ禍や低エネルギー化に対応するテレワーク環境を構築しました。

完
成



業務内容によってスタッフの席位置を変え、空調効率の向上と電力量の削減を図る事により、CO2排出量の更なる削減を目的として開閉式間仕切りを設置しました。開閉式間仕切りには一体感を損なわないクリアガラスデザインを採用しました。

8. 代表者の全体評価と見直し・指示と法令遵守状況等

■代表者による全体評価と見直し・指示

今期策定した社は「社会に感謝し、行動で還元する」のもと、コロナ禍において企業活動が著しく制約される中、社員・パート全員が一丸となって会社を支えた1年だった。

新しい環境経営方針に沿った事業活動はもちろんのこと、本社事務所増床プロジェクトにおいても、環境に対する様々な配慮が最優先の判断基準になっている会社の風土をさらに醸成できたと感じる1年だった。

活動全体を振り返ると、コロナ禍等において致し方ない部分があるものの、昨年指示した全現場参加型施策の遂行が進んでない事が反省点として挙げられる。加えて、地域社会に向けた環境啓発活動が、業界団体や自治体主催の環境ボランティア活動が中止・縮小になったことで、会社としての活動も停止してしまっている。

未だアフターコロナの時期・状況は見通せないため、来期以降は小規模でも会社独自で出来る取り組みを期待する。また、53期に採用した新入社員の教育にもエコアクションを活用していく。

なお、環境経営方針・環境経営目標及び環境経営計画・実施体制の4点について、見直しを行った結果、今回は変更はしないものとする。

最後に、再生エネルギー事業に少しでも触れておきたい。エコアクション21と出会い 経営者として環境について学び取り組む中で、「環境に良い“何か”をこの地域で創り出したい」という想いが日に日に強くなり、太陽光発電所の建設を決め半年かけて準備を進めてきた。(低圧・安佐北区)

コロナ禍の影響により工事や経済産業省の認定が予定より2カ月以上遅延したものの、2021年6月下旬に完成し、今月より本格稼働を開始した。来期は事業初年度として、クリーンエネルギーを通じて温室効果ガス排出量の削減に貢献できるよう、既存事業で培った施設管理経験を踏まえ、社会・地域の皆様に愛される発電所運営を目指していきたい。

2021年7月31日

八洲管理株式会社

代表取締役社長 佐藤 秀雄

■関連法規の遵守状況

<適用される主な環境関連法規制>

廃棄物処理法・ビル管法・フロン排出抑制法・化学物質管理促進法(PRTR法)

<遵守状況結果>

環境関連法規などの遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

■問題点の是正処置及び予防処置の結果

<処置結果>

今年度の活動において問題点は認められませんでした。

9. 各現場における環境活動

■床面再生によるメンテナンスプランの見直し(卓球専門体育館)

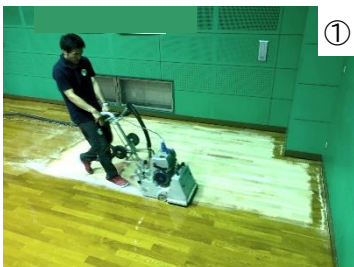
長年のワックスメンテナンスで著しく床面の状態が劣化し、選手の怪我リスクも高くなっていたことから、今後のメンテナンスを踏まえた再生工事を行いました。

工
事
前



昨今、全国の体育館で問題となっている床面表面の劣化。転倒時やフライングした際に怪我をするという事案が複数発生しています。その原因の一つとして、床面清掃時の水分が影響していると言われています。また、長年塗り重ねたワックスが部分的に粉化しており、「シューズが滑る」と選手から声があがっていました

工
事
中



③ 世界的なウレタンメーカーであるBona社の提携施工会社の三友商事(株)(広島市南区)と共同で再生工事を行いました。

<写真左上①>
劣化した床面表面をサイディング

<写真左下②>
白い粉は長年塗布したワックス

<写真右上③>
全面を削った状態
この後、全面にウレタン塗布

<写真右下④>
サイディングした際に回収した木屑

完
成



(最後にウレタンを4層塗布して完成)

◆新しいメンテナンスプラン

- ・床面洗浄頻度
年6回 → **年2回** ・ **自動床洗浄機**
- ・床面維持剤の塗布頻度
年6回 → 選手からの要望に応じ**適宜**
- ・床面維持剤素材
樹脂ワックス → **ポリウレタン樹脂**
- ・ポリウレタン樹脂の特徴
環境に優しい中性洗剤のみで簡単除去
剥離剤不要
- ・メンテナンスコスト
これまでの**3分の1程度に削減**

9. 各現場における環境活動

■ 流入した油分を除去し環境負荷・設備負担の軽減

厨房のグリストラップより中継ポンプ槽へ流出したグリスを定期的に除去する提案を行いました。環境への配慮、中継ポンプの負担の軽減に貢献するサービスとしてお客様にご好評いただいています。



<写真左①>

槽内に浮遊する白い物質が流出した油分

<写真真中②>

長尺柄杓で浮遊油分を除去、加えてポンプ・槽内に凝固した油分を高圧洗浄で剥ぎ取り除去

<写真右③>

作業終了時の槽内

<写真右下④>

収集した油分はお客様に引き渡し、グリストラップ清掃会社が産業廃棄物として適切に廃棄

■ LED照明切り替え提案

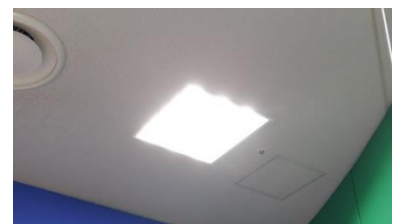
弊社管理施設において蛍光灯からLED照明への切り替えを提案、9台の蛍光器具をLED化したことで月額で約6,000円／月の電気料金削減となりました。



作業前



作業中



作業後

◆LED化は球替え頻度が格段に少なくなるため、労働災害発生リスクの低減にもつながります。